

# 飛び出せ20代

みんな原石宝石になる世代!!

なか ごし だい すけ  
**中越 大輔さん 20歳**

生年月日 平成3年6月4日  
職 場 あすばる大崎  
趣 味 サッカー・フットサル  
好きな歌手 RIP SLYME (リップスライム)



平成22年11月からあすばる大崎に勤務しています。元気いっぱい、夢いっぱいのハタチです。  
現在は、あすばる大崎の“顔”でもあるフロントにて活躍中です(笑)  
いろんなお客様と接する機会があり、毎日が勉強です。お客様との出会い、ふれあうことが私のエネルギーの源です!

## ばっちょっど!

がんばる個人・グループを紹介します

### 大崎とインドネシアの架け橋！ プルナマワティさん



▲「将来インドネシアで大学の教授となり、大崎のリサイクルや日本の歴史、文化を子ども達へ伝えたい」と話すプルナマワティさん



▲母国の伝統舞踊レゴンダンスを披露するプルナマワティさん

おおさき観光案内所で勤務するプルナマワティさんは、インドネシアのジャカルタ市出身。  
幼いころ読んだ本で日本に興味を持ち、平成17年に来日、静岡大学を卒業後、鹿児島大学大学院法文学部に進学し、平成22年3月に博士号を取得し、卒業されています。  
昨年、インドネシアのデポック市がゴミのリサイクルについて学ぶために本町を訪問した際、通訳として参加したプルナマワティさんは、リサイクルシステムに感銘を受け、母国や世界にゴミのリサイクルを伝えようと本町で勤務することを決意されたそうです。

現在、同案内所では、国際交流などを担当しており、インターネット回線を利用したテレビ電話などを使いながら、両国の子ども達の交流を進めています。  
今回、絵本がつなぐ架け橋プロジェクト(本誌P17参照)に携わるプルナマワティさんは、「現在、インドネシアの子ども達は、とても日本の絵本に興味を持っているが、インドネシアでは、書籍が高価で簡単に買うことができない。絵本を架け橋にインドネシアの子ども達と交流しましょう。不要な絵本がありましたら、提供ください。」と話されました。